

議之なるニ鈴木令長ハ現在方段造船所労働組合ノ組織ハ條約ニ  
理想ニ趨リタルヲ認メズルハ之ヲ變更スルノ不可ナキカ如キモ是ヲ  
条件トセズ只兩者了解ノ下ニ變更スルコトトセハ不可ナキレトノ意  
然ラズ俾シタレト令社側依然強硬ナル態度ニシテ

十七日午右之時天王寺公令堂ニ於テ友愛會大段聯合会ヲ主催スル  
傷回野演説會開催、聴衆約千五百名(大部ハ藤永田職工ニシテ在  
友相法等日下争議中ノ職工ノ一部加リ)野田律太ヲ座長ニ推シ  
決議文及宣言ヲ朗読シ満場拍手禮ニ可決、次ハ平井英人  
外十一名ノ演説アリ労働者萬歳ヲ唱ルシ今十時解散セリ  
左解散後藤永田職工約百名ハ労働者歌ヲ唱ルリ造船所前  
野田回方ノ表路ヲ通過シ任官解散セリ  
尚右夜演説會ニ由リトタル荒畑勝三外二名挨拶セリ

### 決議文

- 一 我等ハ団体交渉権ヲ要求ス
- 一 我等ハ横断組合ノ外断トシテ役員本家ニ譲ラズ
- 一 我等ハ工場主室恩ノ為メニ工場委員制度ヲ採用主  
張ス

大正十年六月十七日

全大坂労働者大會  
(六月十七日)

職工側ハ幹部員ノ敬励及友愛會側ノ心援ニ倚賴シ有利ナル解決ヲ期  
待セルニ令社ノ態度硬化シテ更ニ譲歩ナク色ナク職員自白ニ直リ尚  
解決ノ曙光ヲ認めルヲ得サルヲ以テ一部ノ強硬派ハ最早復讐ナル運動ハ  
何等効ナキヲ知り決死ノ覚悟ヲ以テ最右ノ手段ニ訴フハ外ナシトシ矯激  
ナル自暴的言辭ヲ発スルモノアリモ多数職工ハ納情氣ヲ感シ結束堅固